

おおまた公園利活用ワークショップ報告書

作成 一般社団法人はんだのたね

■ 開催趣旨

本ワークショップは、知多半田駅前に位置する「おおまた公園」を、通過型から“集い憩う公園”へと転換することを目的とし、地域住民や関係者と共に活用のあり方を検討する連続企画として開催された。2024年11月に公園向かいに開設された拠点「コココリン」とも連動し、中心市街地の回遊性や日常的な関わりの創出を目指す。

■ 回ごとの主なテーマと内容

回	開催日	テーマ	主な内容
プレ	5/11	公園活用のインプット	事例講演(山田裕貴氏・山下裕子氏)
第1回	5/25	おおまた公園の未来を描く	おおまた公園の未来の姿を出し合い共有
第2回	6/7	公園の使い方を考える	利用者視点での使い方整理、「実験の庭」という理念への共感
第3回	6/29	やってみたいことを出し合う	「食」「火」「子ども」など多様なアイデアが出され、自分の関わり方が明確化される
第4回	7/27	公園で“してみたい”を具体化	企画の見える化と仮設実践のステップ整理
第5回	8/31	実践のステージへ	「何を・誰と・いつまでに」行うかをチームで具体化

■ ワークショップから得られた主な示唆

- 公園を通じて「日常の楽しみ方」が変わる可能性に多くの参加者が気づいた。
- 「ちょっとやってみる」を許容する場としてコンセプト『実験の庭』に共感が集まった。
- 火を囲む・ごはんをつくる・子どもと遊ぶなど、五感と身体性を伴う活動がキーワードに。
- 単発イベントではなく、季節を通じた継続的な関わりや、参加者の成長が意識された。
- 「誰とやるか」「どう広げるか(関係人口の創出)」への視点も強まった。

■ 今後に向けて

- 「実験の庭」という共通理念を軸に、市民主体のチャレンジが生まれる公園へ。
- 利用ルールや管理運営の在り方とあわせて、小さな実践から公園の価値を育てていく段階へ。
- 今後は仮実験や小規模イベントを通じて、社会実装に向けた取り組みが期待される。

おおまた公園コンセプト(案)



おおまた公園イメージ(案)

